

**製品名: HIF-2 アルファ (9A14) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe12025**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:20-1:500,IF-P 1:20-1:500
分子量	96kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EPAS1
別名	bHLHe73;ECYT4;EPAS 1;EPAS1;HIF2A;HLF;MOP 2;PASD2
遺伝子 ID	2034.0
SwissProt ID	Q99814
免疫原	ヒト HIF-2- $\alpha$ の組み換えタンパク質

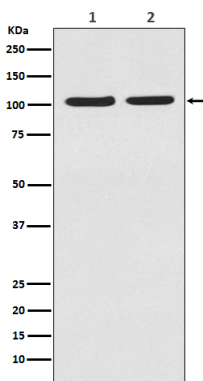
**背景**

酸素調節遺伝子の誘導に關与する転写因子。標的遺伝子プロモーターの低酸素応答エレメント（HRE）内のコア DNA 配列 5'-[AG]CGTG-3'に結合します。血管内皮増殖因子（VEGF）の発現を調節し、血管と肺の尿細管系の発達に關与していると考えられます。また、血液脳関門を生じる内皮の形成に役割を果たす可能性があります。酸素調節遺伝子の誘導に關与する転写因子。ARNT とヘテロ二量体を形成します。ヘテロ二量体は、標的遺伝子プロモーターの低酸素応答エレメント（HRE）内のコア DNA 配列 5'-TACGTG-3'に結合します（相同性による）。血管内皮増殖因子（VEGF）の発現を調節し、血管と肺の尿細管系の発達に關与していると考えられます。血液脳関門の形成に關与する可能性がある。Tie-2 チロシンキナーゼの発現を強力に活性化する。活性化には CREBBP やおそらく EP300 などの転写共活性化因子のリクルートメントが必要である。酸化還元調節タンパク質 APEX1 との相互作用が CTAD を活性化すると考えられる（類似性に基づく）。

## 研究分野

癌の経路;腎細胞癌;

## 画像データ



(1)MCF-7 細胞溶解物、(2)HeLa 細胞溶解物中の HIF-2α のウエスタンブロット分析。